

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公開番号】特開2001-147380(P2001-147380A)  
 【公開日】平成13年5月29日(2001.5.29)  
 【出願番号】特願平11-330191  
 【国際特許分類】

**G 0 2 B 23/24 (2006.01)**  
**A 6 1 B 1/00 (2006.01)**  
**G 0 2 B 23/26 (2006.01)**  
**G 0 2 B 26/10 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 B 23/24 B  
 A 6 1 B 1/00 3 0 0 Y  
 G 0 2 B 23/26 B  
 G 0 2 B 23/26 C  
 G 0 2 B 26/10 1 0 1

【手続補正書】  
 【提出日】平成18年11月13日(2006.11.13)

【手続補正1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体の画像を得るために、被検体に光を照射し、その戻り光を検出する光走査型光学装置であって、

前記被検体を全体的に照明する照明装置と、  
 前記被検体の特定の微小領域からの戻り光を集光するための集光光学系と、  
 前記集光光学系により集光された戻り光を検出する光検出部と、  
 前記微小領域を走査するための走査部とを備えている、光走査型光学装置。

【請求項2】

前記走査部は複数の反射鏡を備えており、前記反射鏡の少なくとも一つは揺動可能な走査ミラーであり、前記走査ミラーは半導体製造プロセスを用いて作製されたマイクロマシンミラーである、請求項1に記載の光走査型光学装置。

【請求項3】

前記光検出部は、前記集光光学系の結像面に端面が配置されたライトガイドを備え、  
 前記走査部は、前記集光光学系と前記ライトガイドとの間に設けられ、前記集光光学系からの戻り光の光路を折り曲げる第1の走査ミラーと、前記第1の走査ミラーで反射された戻り光の光路を再び折り曲げる第2の走査ミラーとを備え、  
 前記第1の走査ミラーと前記第2の走査ミラーとが互いに非平行な揺動軸の周りに揺動する、請求項1に記載の光走査型光学装置。

【請求項4】

請求項1ないし請求項3のいずれかに記載の光走査型光学装置を挿入部の先端部分に備えた内視鏡であって、光走査型光学装置の視野方向が内視鏡の挿入方向と一致している、内視鏡。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明は、ある面においては、被検体の画像を得るために、被検体に光を照射し、その戻り光を検出する光走査型光学装置であって、被検体を全体的に照明する照明装置と、被検体の特定の微小領域からの戻り光を集光するための集光光学系と、集光光学系により集光された戻り光を検出する光検出部と、前述の微小領域を走査するための走査部とを備えている。